

20
下月号
聖徒伝 179

「恐れるな
わたしがあなたと
ともにいる」

イザヤ書41章

イスラエルの残れる者への奨励

アウトライン

0. イントロダクション

I. 直近の預言・キュロスによる解放

41章1～12節

II. 終末の預言・イスラエルの解放

41章13～20節

III. 終末の預言・砕かれる偶像

41章21～29節

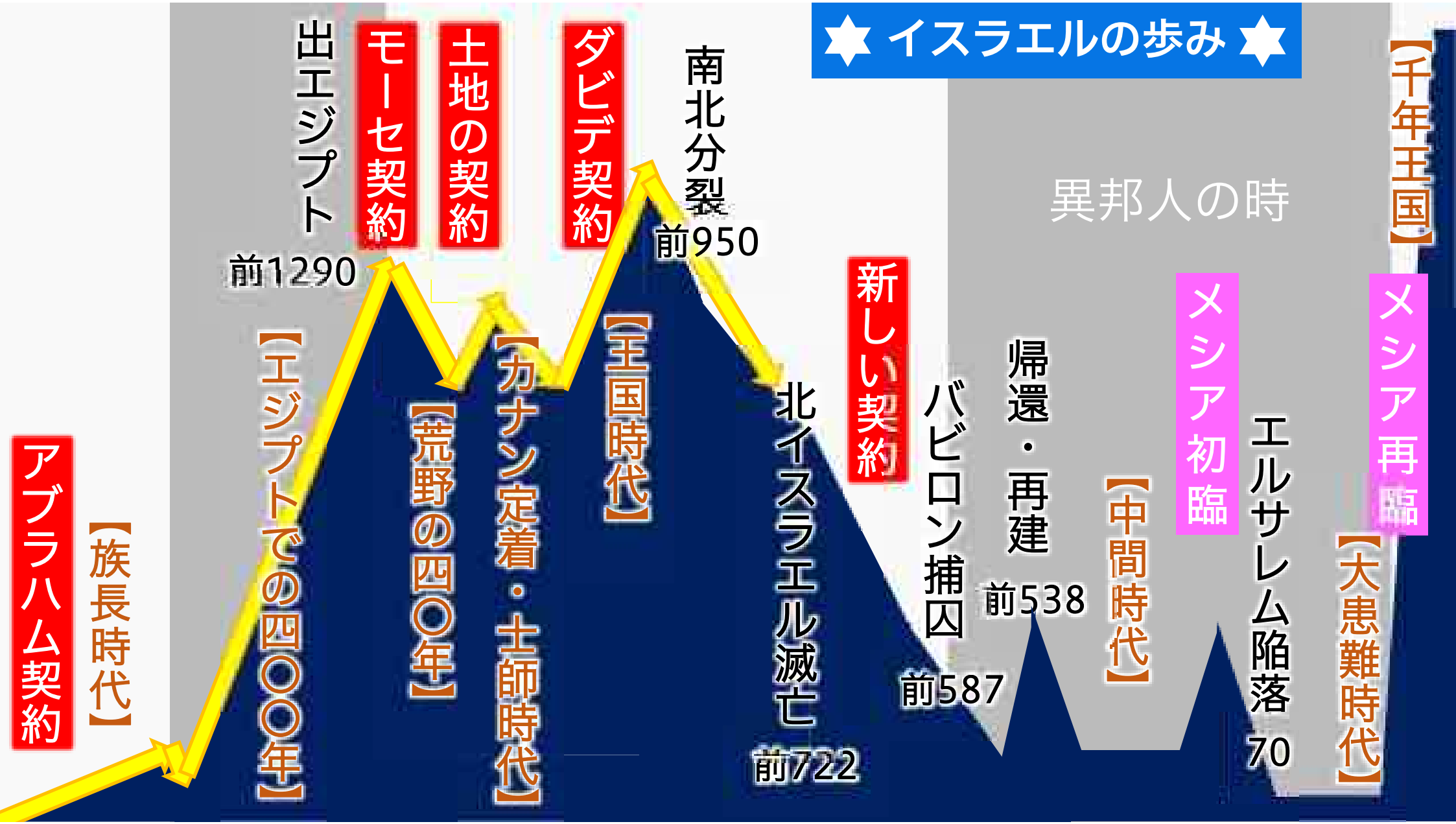
IV. まとめと適用

キリストの弟子が苦難の中で得る幸い



バビロン・イシュタル門

★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

【エジプトでの四〇〇年】

【荒野の四〇年】

【カナン定着・士師時代】

【王国時代】

【中間時代】

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

出エジプト
前1290

モーセ契約

土地の契約

ダビデ契約

南北分裂
前950

新しい契約

北イスラエル滅亡
前722

バビロン捕囚
前587

帰還・再建
前538

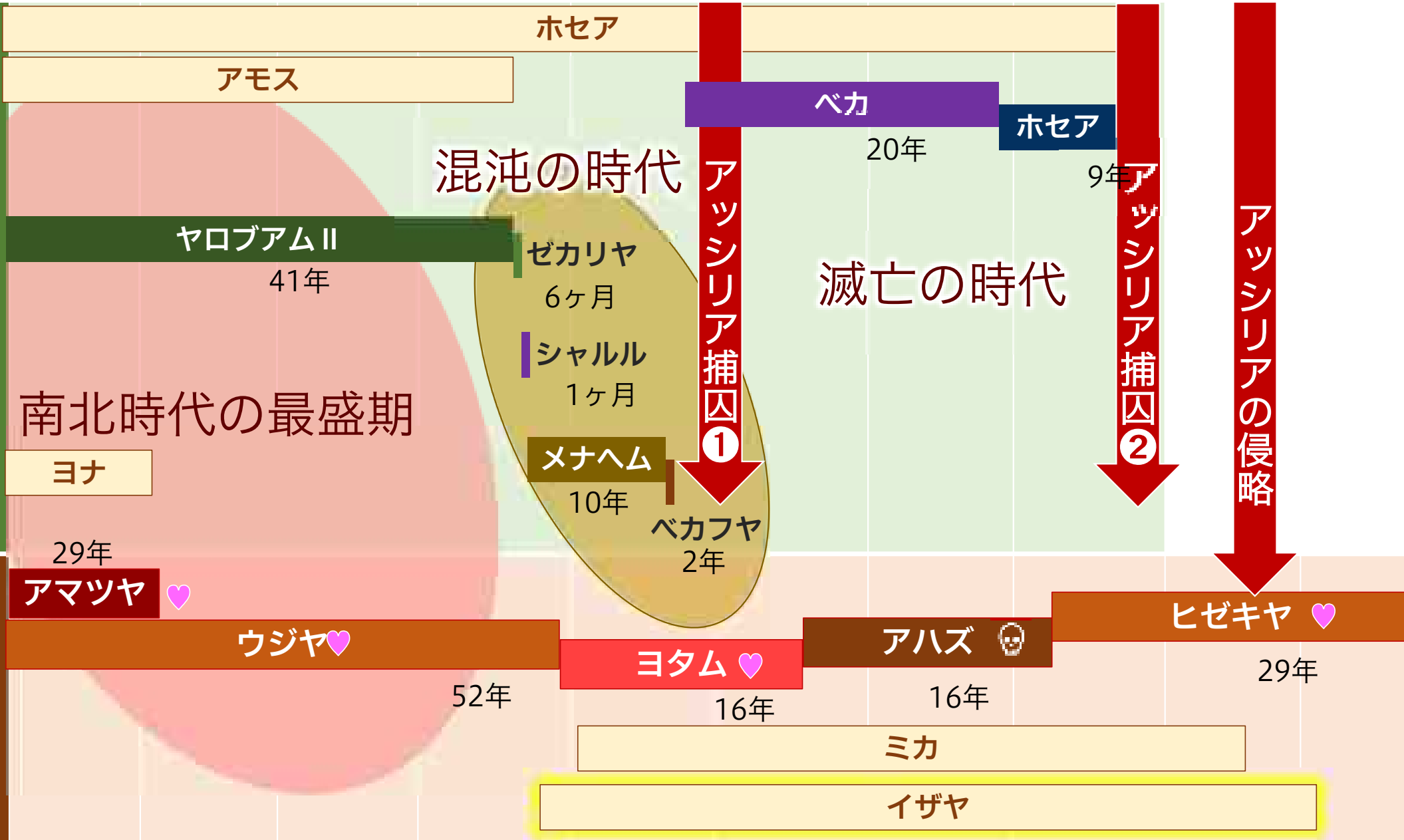
異邦人の時

メシア初臨

エルサレム陥落
70

北王国イスラエル

南王国ユダ



イザヤ書の構成 と イザヤの生涯

前半

- 南北の王国が最盛期を過ぎ、滅亡に向かう混沌の時代に召命。南王国の4人の王に仕える(ウジヤ～ヨタム～アハズ～ヒゼキヤ)
- アッシリアにより北王国は滅亡。南王国も危機に。
- バビロンからの使者は、南王国の滅びを予兆。

→ 確定している南王国への裁き(バビロン捕囚)

危機と警告

後半

- 捕囚を前提として語られる、将来の解放の希望。
- 晩年は、ひたすらイスラエルの贖いと回復を告げた。

→ 究極の希望が、メシアによる神の王国

将来の希望

預言書の構成



立体的に多面的に聖書を捕らえよう!!
神が聖書に記されたのは、次元を越えた領域のこと!!

預言の内容



直近の預言の実現が、将来の預言の保証!!

預言は フラクタル構造(相似形)

←小さな部分に全体が
全体に部分が現れている



シダ

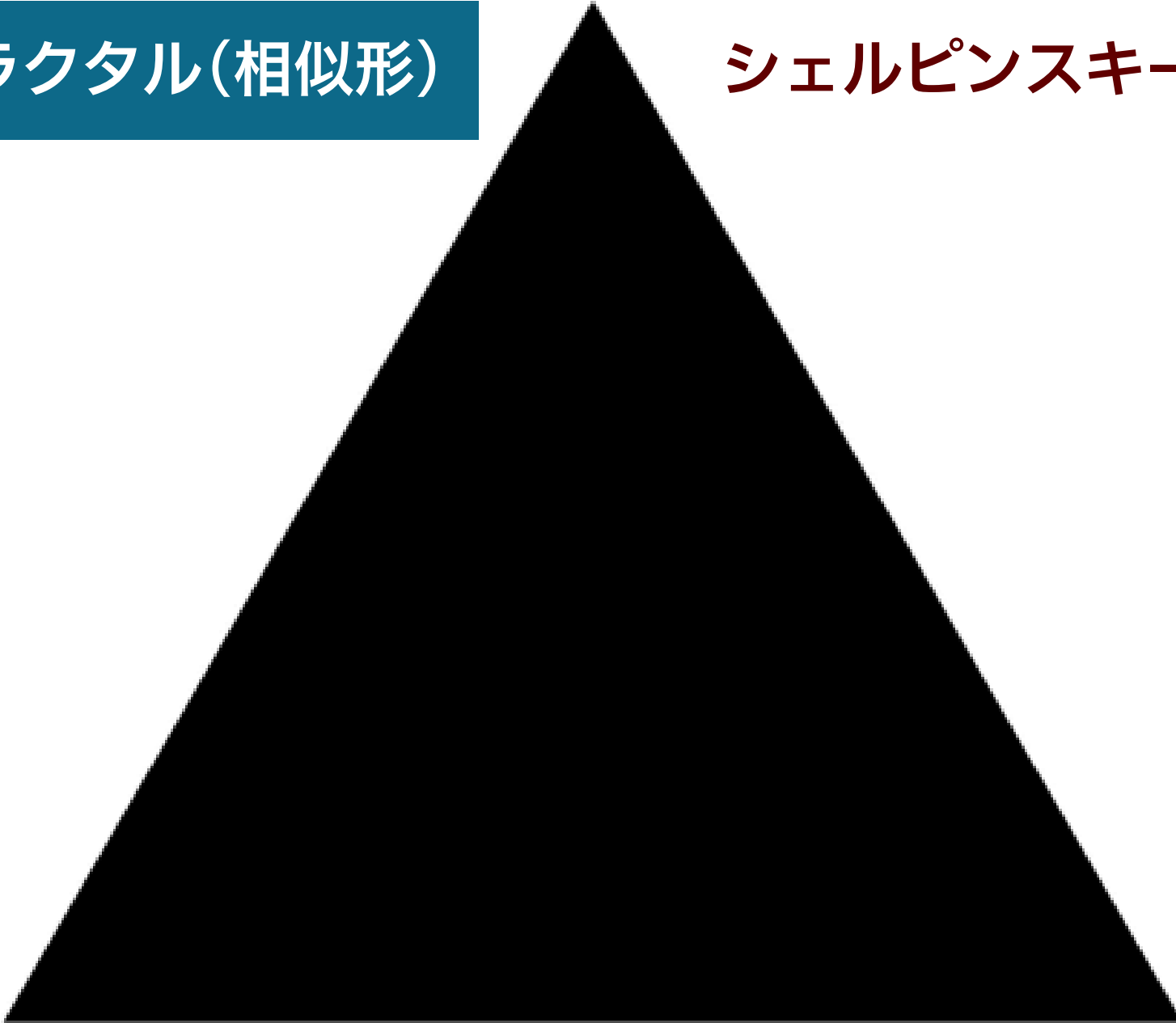


ロマネスコ

自然の中にあふれている!!

預言はフラクタル(相似形)

シェルピンスキーの三角形

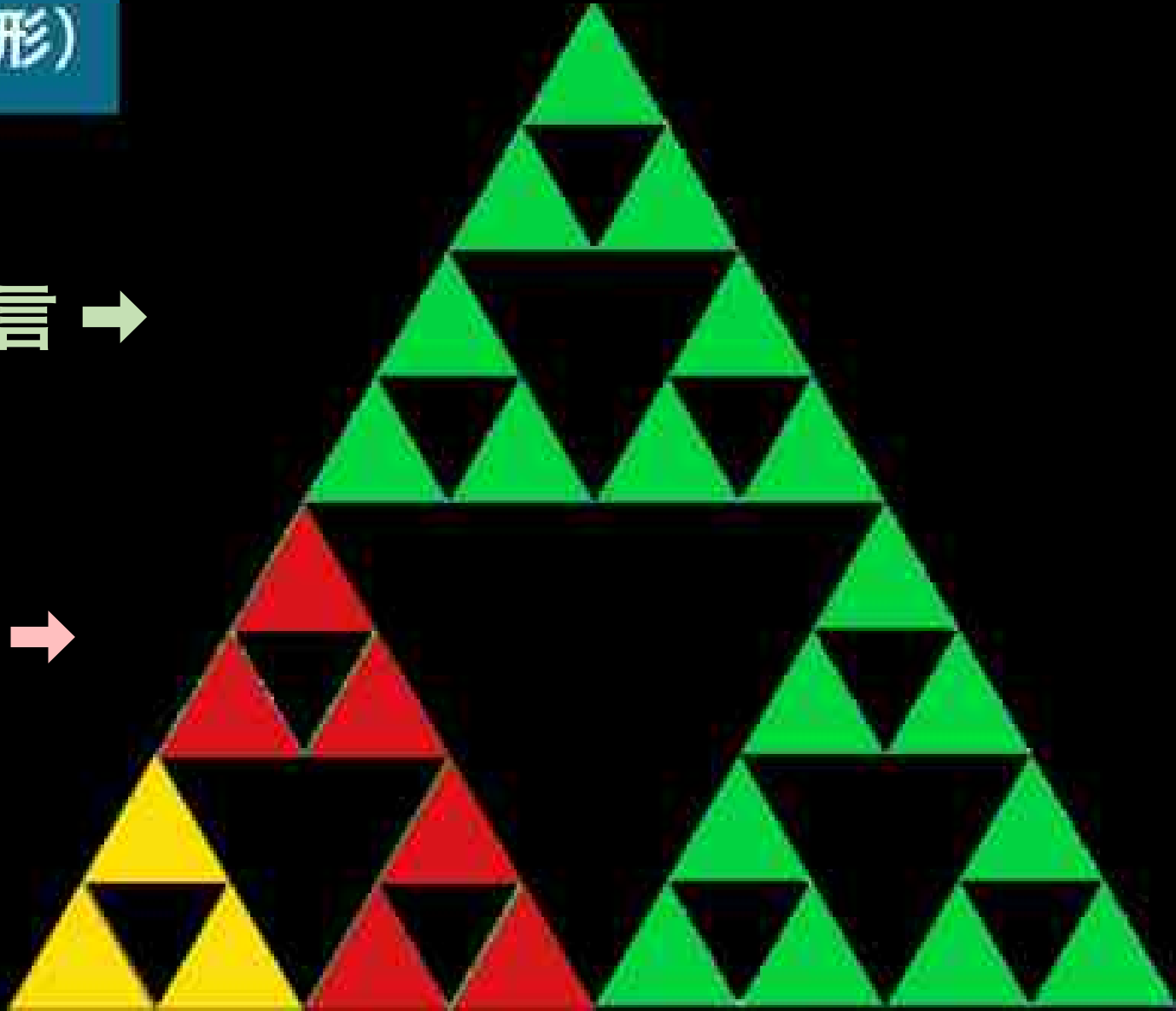


預言はフラクタル(相似形)

世の終わりの預言 →

遠い将来の預言 →

直近の預言 →





Ⅰ. 直近の預言 キュロスによる解放 イザヤ書41章1～8節

ペルシャの浮彫

裁き 裁判への召喚 イザヤ41:1

「島々*よ、わたしの前で静まれ。諸国の民*よ、新しく力を得よ。近寄れ。そして語れ。われわれは、ともに、さばきに近づこう*。」

*世界中の異邦人への呼びかけ

*神が裁判に召喚されている。



裁き 東からの救済者 イザヤ41:2

だれが一人の者*を東から起こし、その行く先々で勝利を収めさせるのか。だれが彼*の前に国々を渡し、王たちを踏みにじらせるのか。彼*はその剣で彼らをちりのようにし、その弓で藁のように追い散らす。

*100年以上後に現れるペルシャ王キュロス

→究極的に示すのは、イエス・キリスト

■直近のキュロス王のことを示す中に、

終末の再臨のキリストの姿が現れている。



裁き 神の御手 イザヤ41:3~4

彼は彼らを追い、難なく進んで行く。まだ自分の足で行ったことのない道を*。

だれが、最初から代々の人々に呼びかけてこれらをなし、これらを行ったのか。【主】であるわたしだ。わたしは初めであり、また終わりとともにある。わたしがそれだ。

*“未征服地”を次々に征服していく。

*主イエスの宣言と同じ(黙22:13他)

➡時間を超越した永遠の存在ということ。

■キュロス王の背後に働かれているのは、初めであり、終わりである真実のメシア。



裁き 偶像礼拝者たち イザヤ41:5~7

島々は*見て恐れる。地の果ては*震えながら、近づき、やって来る。

彼らは助け合い、その兄弟に『強くあれ』と言う。

鋳物師は金細工人を励まし、金槌で打つ者は、鉄床をたたく者を励まして、はんだ付けについて『それで良い』と言い、釘で打ち付けて動かないようにする。

*人間の王の領域を越えている?! →再臨のメシア

■キュロスの侵略にも、メシアによる裁きの時にも、自分たちで作った**偶像**に信頼する者たちの愚かさ。





II. 終末の予言・イスラエルの解放 イザヤ書41章9～31節

荒野のオアシス

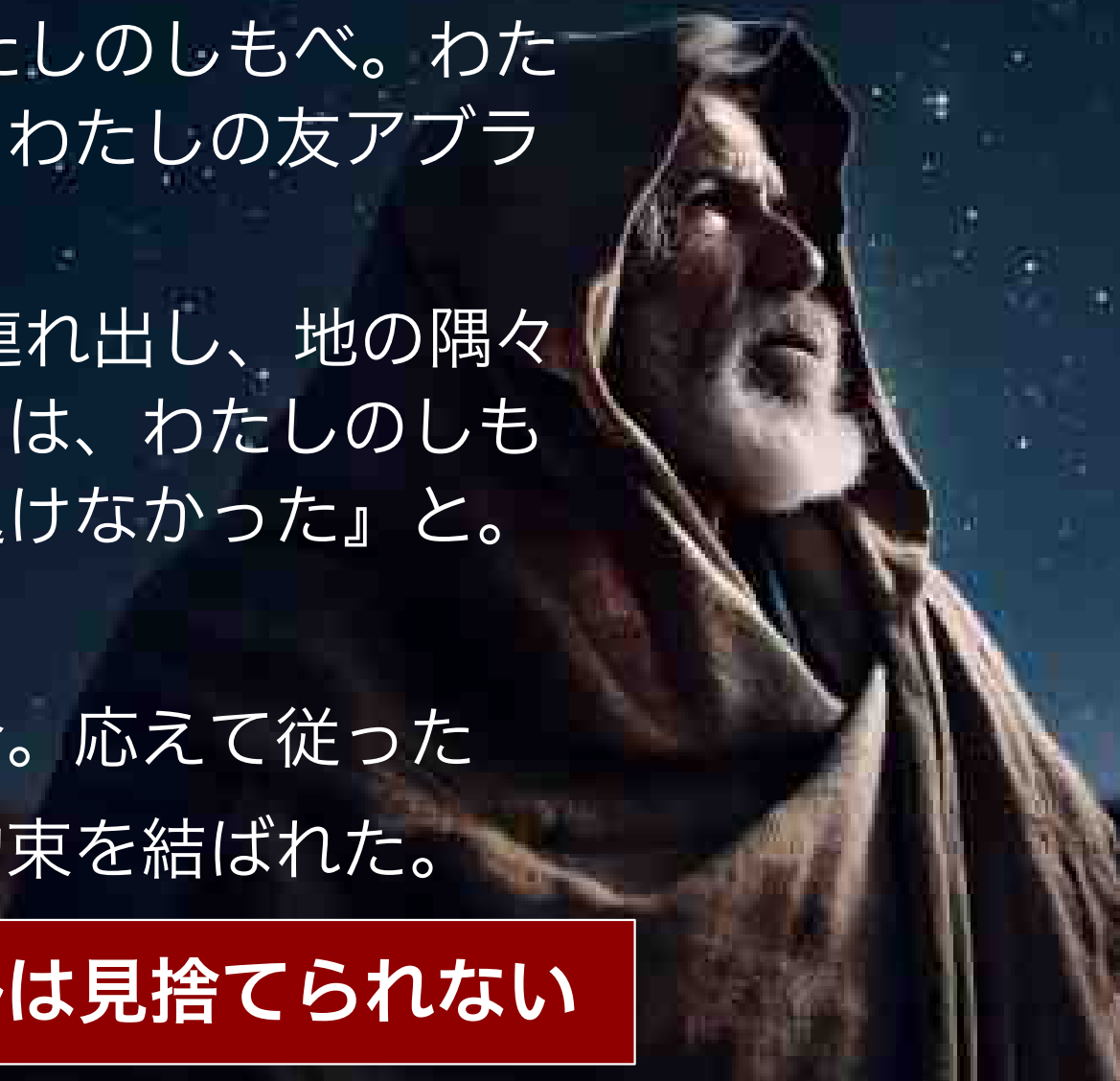
回復 呼び出される民 イザヤ41:8~9

だがイスラエルよ、あなたはわたしのしもべ。わたしが選んだヤコブよ、あなたは、わたしの友アブラハムの裔だ。

わたしはあなたを地の果てから連れ出し、地の隅々から呼び出して言った。『あなたは、わたしのしもべ。わたしはあなたを選んで、退けなかった』と。

- 神が一方的にアブラハムを召命。応えて従ったアブラハムと子孫と、永遠の約束を結ばれた。

神の約束のゆえ、イスラエルは見捨てられない



回復 神の守りの宣言 イザヤ41:10~11

恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わたしの義の右の手*で、あなたを守る。

見よ。あなたに向かっていきり立つ者はみな恥を見て辱められ*、あなたと争う者たちは無いものようになって*滅びる。

*裁きを宣告する神の“権威”を指す。

*誇るものは皆無で、神の裁きに堪えない状態。

*最初から存在しなかったように痕跡すら消滅。



回復 消失 イザヤ41:12~13

あなたと言い争う者を探しても、あなたは見つけることができず、あなたと戦う者たちは、全く無いもののようにになってしまう。

わたしがあなたの神、【主】であり、あなたの右の手を固く握り、『恐れるな。わたしがあなたを助ける』と言う者だからである。

- 神に言い逆らう者は、地上から完全に抹消。主に信頼する者は堅く守られる。



回復 イスラエルの聖なる者 イザヤ41:14

恐れるな。虫けら*のヤコブ、イスラエルの人々。わたしがあなたを助ける。——【主】のことば——あなたを贖う者はイスラエルの聖なる者*。

*辱めの極みにある姿(ヨブ25:6)

→イスラエルの残れる信仰者の苦難の姿。

→究極が受難のメシア(詩篇22:6)

イスラエルの罪はメシアが負われた。

*再臨のメシア、主イエス・キリスト



回復 打穀機のように イザヤ41:15~16

見よ。わたしはあなたを鋭く新しい両刃の打穀機とする。あなたは山々を踏みつけて粉々に砕き、丘を粃殻のようにする。

あなたがそれをあおぐと、風が運び去り、暴風がそれをまき散らす。あなたは【主】にあって喜び、イスラエルの聖なる者によって誇る。

- イスラエルは、主の力によって敵を打ち砕き、メシアと共に、王国を治める。



回復 神の奇跡の水 イザヤ41:17~18

苦しむ者や貧しい者*が水を求めてもそれはなく、その舌は渇きで干からびる。わたし、【主】は彼らに答え、イスラエルの神は彼らを見捨てない。

わたしは裸の丘に川を開く。平地のただ中には泉を。荒野を水のある沢とし、砂漠の地を水の源とする。

*イスラエルの残れる信仰者(レムナント)を指す。

→信仰のゆえに、苦しみ、貧しくされる者

「心の貧しい者は幸い(マタイ5:3)」

*大患難に、かつてのように主が奇跡的に水を与え、イスラエルの残れる者を反キリストから守られる。



回復 荒野が緑に イザヤ41:19~20

わたしは荒野に、杉、アカシヤ、ミルトス、オリーブの木を植え、荒れ地に、もみの木、すずかけの木、檜をともに植える。

それは、【主】の手がこれを行い、イスラエルの聖なる者がこれを創造したことを、彼らが見て知り、心に留めて、ともに悟るためである。

- メシアの王国では、荒野が豊かな森になり、神の御業のしるしとされる。





III. 終末の予言・砕かれる偶像

イザヤ書41章21～29節

バビロンの遺跡

裁き 求められる反証 イザヤ41:21~22

あなたがたの訴え*を出せ。——【主】は言われる——
——あなたがたの証拠*を持って来い。——ヤコブの王は言われる——

持って来て、後に起ころうとする事を告げよ。前の事は何であったのかを告げよ。そうすれば、われわれもそれを心に留め、後の事を知ることができるだろう。または、来たるべき事をわれわれに聞かせよ。

*不信仰者に、神に対する反証が求められる。

■ 答えは明確。時を越えて預言できるのは神だけ。

→ 反証の余地など皆無。



裁き 審判 イザヤ41:23～24

後に起ころうとすることを告げよ。そうすれば、われわれは、あなたがたが神々であることを知るだろう。良いことでも悪いことでもしてみよ。そうすれば、われわれはともに見て驚くだろう。

見よ、あなたがたは無に等しい。あなたがたの行いは空しい。あなたがたを選ぶ者は忌まわしい。

- 反証の余地なく、**偶像礼拝の虚無**が明らかに。
➔ 神に背く指導者も、従う者も、共に裁かれる。

偽りの教えも偶像礼拝も、言い逃れの無い罪



裁き 執行人 イザヤ41:25

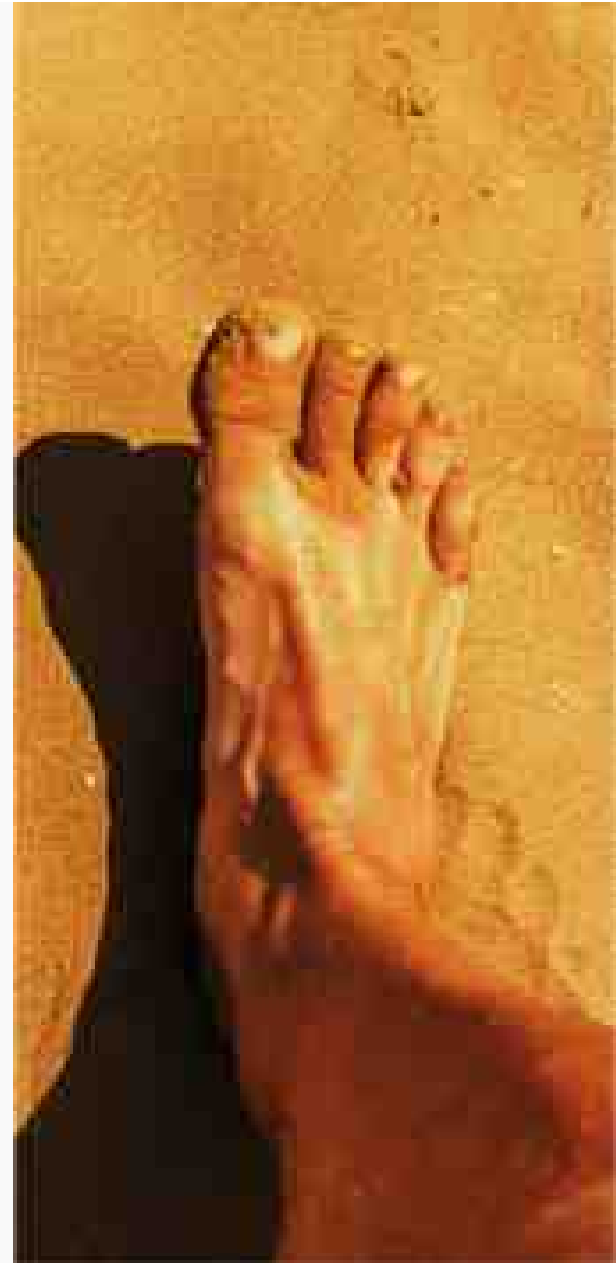
わたしが北*から人を起こすと、彼は来て、日の昇るところから*、わたしの名を呼ぶ*。彼は長官たちを漆喰のように踏む。陶器師が粘土を踏みつけるように。

*キュロス王の母は北のメディア出身。

*父は東のアンシャン出身。

*キュロスの勅令には、ヤハウエの名が記された。

(Ⅱ歴36:23,エズラ1:1~4)



裁き 一人もいない イザヤ41:26

だれが、初めから告げて、われわれ*が知るよう
にしたか。だれが、あらかじめわれわれ*に告げて、
『それは正しい』と言うようにしたか。告げた者
は一人もなく、聞かせた者も一人もなく、あなた
がたの言うことを聞いた者も一人もいなかった。

*父子聖霊なる三位一体の神

■世界の初めからのことを神に教える者などない。

→世界の起源を人が語る愚かしさ。



裁き 良い知らせ イザヤ41:27～29

わたしが最初にシオンに『見よ、**それら**はここにある』と言い、わたしがエルサレムに『**良い知らせ**を伝える者を与える』と言った。

■**救いの約束**は、まずイスラエルにもたらされ、イスラエルのメシアが**救いの福音**をもたらした。



裁き 偽りの偶像礼拝者 イザヤ41:28~29

しかし、見回しても、だれもいない。彼らの中には助言者がいない。わたしが尋ねても返事のできる者が。

見よ、彼らはみな偽りで、そのなすことは空しい。彼らの鑄像は風のように何も無い。」

- 偶像礼拝者のバビロンは、倒された。
終末の反キリストも追従者も、倒される。
- 主に従わない者に、主の知恵も言葉もない。
➔ 偽預言者、偽教師を待つのは滅びだけ。



虚しさの極み





IV. まとめと適用 キリストの弟子が 苦難の中で得る幸い

荒野の朝日

捕囚からの解放と 終末預言の相似形

【直近の預言】

■ イザヤが直近のこととして告げるのは、捕囚の後に来る解放。
東(北)から、**ペルシャのキュロス王**によってもたらされる。

→ 偶像崇拜の**バビロン**は滅ぼされる。

【終末預言】

■ 究極的な解放は、東からエルサレムに来られる
再臨のメシアによってもたらされる。

→ 究極の偶像礼拝の、**大バビロン**も滅ぼされる。



預言の希望は、イスラエルの残れる者に!!

- 大患難時代に、民族的回心に至るのは、**イスラエルの残れる者**
- イザヤが告げた、神の言葉を受け取ったのも、**レムナント**
 - ➔ 預言は、**イスラエルの残れる者・レムナント**のために語られた。
- 預言者同様、レムナントも、同胞からの迫害に直面する。
「虫けら」、「苦しむ者・貧しい者」と呼ばれる。
- 初臨のメシアは、弟子たちを同様に「**(心の*)貧しい者**」と呼ばれた。
(*プネウマ…霊的な。徹底的な。➔戦いの激しさゆえの貧しさ)

キリストの弟子は、今の時代の“残れる信仰者”

「幸い章句(マタイ5:3~12)」を預言者の視点で味わおう

「心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちのものだからです。
悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるからです。
柔和な者は幸いです。その人たちは地を受け継ぐからです。

義に飢え渴く者は幸いです。その人たちは満ち足りるからです。
あわれみ深い者は幸いです。

その人たちはあわれみを受けるからです。

心のきよい者は幸いです。その人たちは神を見るからです。

キリストの弟子は、今の時代の“残れる者”

「幸い章句(マタイ5:3~12)」を預言者の視点で味わおう

平和をつくる者は幸いです。

その人たちは神の子どもと呼ばれるからです。

義のために迫害されている者は幸いです。

天の御国はその人たちのものだからです。

わたしのために人々があなたがたをののしり、迫害し、

ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いです。喜びなさい。大いに喜びなさい。天においてあなたがたの報いは大きいのですから。あなたがたより前にいた預言者たちを、人々は同じように迫害したのです。

主イエスが告げた 「幸い」とは？

- 第一義的には、**イスラエルの残れる者**へのメシアの呼びかけ
- 「幸いだ」と神の祝福を受けるのは、
 - ・ 信仰のゆえに迫害され、激しい戦いで、心底貧しくされている者。
 - ・ イスラエルの罪を憂い、悲しんでいる者。
 - ・ 神の前に謙遜に、人々に仕え、神の言葉を告げる者。
 - ・ 不条理な苦難の中で、神の義を切に待ち望む者。
 - ・ 神の憐れみをもって、他者に憐れみを注ぐ者。
 - ・ 主に忠実に従い、聖霊にきよめられ、確かに神を見る者。
 - ・ 福音を信じて神と和解し、兄弟姉妹と平和を作り上げている者。
 - ・ 神の義を第一とするがゆえに、迫害されている者。

イスラエルの残れる者と 預言者と キリストの弟子

- “**山上の垂訓**”は、メシアがイスラエルに教えた“**律法と預言の解釈**”
- 主イエスは、**預言者の働きを継ぐ者**として弟子たちを立てられ、直面する迫害と苦難に、信仰を持って相対することを教えられた。
- 預言者たち同様、弟子たちを苦しめるのは、同胞の**イスラエル**。
- キリストの弟子は、**メシアへの忠実さ**のゆえに、ののしられ、迫害され、悪口を浴びせられる。
- ➔ 忍耐して主に従った先に、預言者たち以上の祝福が約束されている。

★ キリストの弟子として歩むということ ★

- 地上にあっては、「苦しむ者。貧しい者」それが真の信仰者。
地上の教会に、偽りの教えがはびこるのは、主が警告された通り。
- 弟子たち同様、信仰者の苦難は、地上の教会のただ中にある。
聖書全体を貫く変わらぬ真理に立ち続ける、それ自体が戦いだ。
- 御言葉に忠実であろうとするほど、戦いが激しさを増すのは当然。
イザヤも預言者たちもそうであったように、主の御言葉から、
希望と力をいただいでいこう。
- 激しさを増す戦いに身を置くほどに、染み渡っていく平安がある。

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

しゅ つ とお しんこうしゃ くなん たた
主が告げられた通り、信仰者には、苦難があり、戦いがあります。

しゅ みことば しんらい もの
ますます主の御言葉にすぎり、信頼する者としてください。

よ くる もの まず もの わたし しゅ つよ
世で、苦しむ者、貧しい者とされた私を、主が強めてくださいます。

しゅ かみ わたし とも
主よ、あなたが、わたしの神。私と共におられます。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」